

令和 4 年度
外部評価結果報告書

令和 5 年 2 月
八街市行財政調査会

1 外部評価の目的

八街市が実施する行政評価において、行政内部による事務事業評価に外部の視点を加え、評価における客観性や透明性を確保し、事務事業の改善を推進することを目的に外部評価を実施しました。

2 外部評価員の構成

八街市行財政調査会の職務に基づく外部評価であり、八街市行財政調査会委員は以下のとおりです。

役 職	氏 名	備 考
会 長	関 谷 昇	学識経験者 千葉大学大学院社会科学研究院教授
副会長	京 増 良 男	学識経験者 元八街市監査委員
委 員	治 部 登美子	市民代表 市民団体共同代表
委 員	玉 川 寛 治	公募委員
委 員	中 根 一 訓	学識経験者 元八街市職員
委 員	伊 藤 浩 子	学識経験者 元朝陽小学校校長

3 外部評価の流れ

(1) 評価対象事務事業の選定

今年度の外部評価では、令和3年度実施事業の内部評価を踏まえ、成果が出ていない125事業を機械的に抽出し、その中から「目標の設定や成果指標に課題があるもの」、「新型コロナウイルス感染症の直接の影響のみで成果が下がっているもの」などを除いた17事業、加えて成果に関わらず特に関心が高いと考えられる3事業の合計20事業を事務局において選定候補として抽出し、調査会において9事業を選定しました。

(2) 担当課ヒアリング及び評価作業

①事業概要等の説明

担当課から事業概要の説明を受け、事業の内容、課題・問題点等を把握しました。

②質疑応答

事業概要の説明や資料から読み取れない部分は、「質問書」によるやりとりや、質疑応答により疑問点等を解消しました。

③評価

ヒアリングの結果を踏まえ、各事業の今後の方向性等について委員間で議論し、評価を行いました。

4 会議の開催日程

令和4年度八街市行財政調査会の開催日及び主な内容は、以下のとおりです。

回 数	開催日	主な内容
第1回	令和4年 7月26日(火)	・外部評価対象事務事業の選定
第2回	令和4年 9月29日(木)	・担当課ヒアリング及び評価作業 (番号1～3)
第3回	令和4年10月19日(水)	・担当課ヒアリング及び評価作業 (番号4～6)
第4回	令和4年11月30日(水)	・担当課ヒアリング及び評価作業 (番号7～9)
第5回	令和5年 2月 2日(木)	・外部評価結果報告書の提出

5 外部評価の結果

事業の方向性を、「事業継続」、「事業廃止・休止」、「事業完了」の中から判定しました。

また、「事業継続」と判定した事業については、さらに「拡充」、「現状維持」、「見直し・改善」、「縮小」の中から判定を行いました。

なお、個々の事業評価の過程における委員の主な意見、事業の方向性に関するコメント等は、次ページ以降に掲載した「令和4年度外部評価結果」のとおりです。

令和4年度外部評価結果（概要）

番号	事業等名	担当課	評価結果	主な意見等
1	強靱な水道	水道課	事業継続 見直し・改善	4 ページ
2	移住定住促進事業費「移住定住の推進、結婚を希望する若者への支援」	企画政策課	事業継続 見直し・改善	5 ページ
3	空き家対策事業費	都市計画課	事業継続 見直し・改善	6 ページ
4	調理場給食事業費	学校給食センター	事業継続 見直し・改善	7 ページ
5	調理場維持管理費	学校給食センター	事業継続 現状維持	8 ページ
6	子育て世代包括支援センター運営事業費	健康増進課	事業継続 見直し・改善	9 ページ
7	通学路安全対策事業費	学校教育課 (道路河川課)	事業継続 見直し・改善	10 ページ
8	公共施設等マネジメント推進事業費「八街駅北口の市有地利活用事業」	財政課	事業継続 見直し・改善	11 ページ
9	市税徴収事務費	納税課	事業継続 現状維持	12 ページ

令和4年度外部評価結果

番 号	I
事 業 等 名	強靱な水道
事 業 概 要	災害に強く、たくましい水道となるため、老朽化した施設・管路の更新とともに、重要施設の耐震化等を進めるもの。
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・更新が遅れることにより漏水による緊急修繕が増え、その修繕費用を賄うために更新費用が充てられ、結果として更新が後回しになる悪循環に陥っている。緊急修繕等にとらわれず、毎年少しずつでも計画的に石綿管を更新できるような、いわゆる枠予算のようなものは組めないのだろうか。 ・管路の更新が進まない一因として財源の不足があるのは明らかだが、それでも料金を上げずに今のまま運営を継続していくのか。 ・市が置かれている深刻な状況は理解したが、それでも計画を立てて、市民に現況や意思を示していかなければならないと思う。その上で値上げをしていくということも検討すべきである。 ・収入の増加が見込めないのであれば、支出を減らすという視点もある。水余りの問題によって不必要なお金を出さなければいけない、あるいは対応しなければいけないというのは考えものである。 ・一番大切にしなければならないのは、水がストップして問題を起こすということがないように日頃から、強靱な水道を作っていく必要があるということ。
事 業 の 方 向 性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>強靱な水道の構築を進める中で、財源の不足と石綿管更新の問題に直面しており、現状は老朽化した配水場施設の緊急修繕などに追われ、石綿管の更新が進んでいない。また、現時点では料金改定等も予定されておらず、財源的にも厳しい状況にある。</p> <p>このような状況下においては、緊急の修繕等に関わらず一定のペースで石綿管の更新を行うことを計画に盛り込む等、総合的な観点から事業を精査し、新たな計画を作成し、より計画的に維持管理を進めるとともに、現況を市民に示し「強靱な水道」を実現するための財源の確保についても検討すべきである。</p>

(担当) 水道課

令和4年度外部評価結果

番 号	2
事 業 等 名	移住定住促進事業費「移住定住の推進、結婚を希望する若者への支援」
事 業 概 要 等	<p>人口減少及び地域経済の衰退を打開するため、移住定住及び観光交流を促進することにより、八街市への新しい人の流れを創出するとともに、地域経済の活性化を図る。</p> <p>また、団体等が開催する結婚支援イベントに係る広報支援や若者世代の結婚新生活に係る補助金の交付等、出会いの機会の創出から結婚生活支援まで包括的な結婚支援事業として実施することで、若年層の結婚を契機とした転出を防ぎ、また、経済的な理由で結婚に踏み出せない者への支援を実施するもの。</p>
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住促進というに移り住むことに重点を置きがちであるが、実は住み続ける定住のための事業が重要である。 ・若者の転出が著しいのは問題である。いかに八街に住み続けたいと思ってもらえるかがポイントであるので、市が行っている支援をアピールするのも良いが、そもそも支援自体をより拡充していけるのかどうかも課題と言える。 ・移住定住促進事業という、この事業内容はかなり弱いという印象を受ける。 ・市民の中でも一部では「八街市をもっとPRしたい」という動きがあり、既に取り組んでいる人たちもいる。そういう人たちとの交流が活発的に行われていないというのはすごくもったいないと感じる。市として、個々の動きやそれを面的なかたちで発信することを期待しており、そのような方向に費用を使うのが効果的ではないか。 ・個々のメニューを黙々とこなしているだけでは、実は成果が出ていないということになりかねない。
事 業 の 方 向 性	<div> <input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業完了 </div>
事業の方向性に関するコメント	<p>若い方々が移り住むということ、そして住み続けてもらうためには、仕事があり、同時に様々な学びの場があり、さらにそれを支援していくというように、市を巡る環境がどんどん創られていくという流れが、上手く循環するような仕組みづくりが必要である。</p> <p>そのためには市民が八街市のことをどう思っているのかという「生の声」を膨らませていくことが非常に大切で、それを施策やシティセールスにうまく活用していくことが求められる。</p> <p>まずは具体的なターゲットを定め、基礎情報を十分に集めた上で、効果的に発信していくことや、それに基づいた戦略を立てていくことが期待される。</p> <p>また、個々のメニューについて成果が上がっているのかをしっかりと検証し、より有効と考えられる施策を強力に推進していく必要がある。</p>

(担当) 企画政策課

令和4年度外部評価結果

番 号	3
事 業 等 名	空き家対策事業費
事 業 概 要	全国的に空き家が増加し、増加に伴い様々な問題が発生しているため、空き家対策について検討を行い、今後の適正な空き家管理を目指すもの。
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な物件への対応をより本格化させていくということが、一つの方向になると思われる。 ・空き家対策には、物件数と個々の物件の危険度をしっかり把握する必要がある。現状、把握はできていないが事実上使用されていない空き家はまだまだあると思われ、それを丁寧に洗い出していく作業は担当部署だけでできる話ではないので、自治会と連携していく必要がある。 ・今後、空き家の数は増えていくことが予想されるので、包括的な計画と協議会をしっかりと立ち上げて対応していく必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>空き家対策は「危険な物件への対策」という視点と、「利活用」という視点の二方向から考える必要がある。</p> <p>前者については、緊急の対応が必要な物件なのか、あるいは追々対応することで問題ない物件なのかという情報の把握、見極めが必要であり、今後それぞれの数が増えていくことが見込まれる中で、どのような体制を構築して臨んでいくのかをしっかりと整理されたい。</p> <p>後者については、空き家を「子育て支援の拠点」、「高齢者福祉の拠点」といった、まちづくりの一環として貸し出すことやビジネス活用など、いろいろな形で利活用を考えていくことが求められる。</p> <p>以前の行財政調査会で空き家バンク事業の評価を「休止・廃止」としたのは、これが全く無駄な事業ということではなく、どういう考え方の中でこの事業を続けていくのかということを見直す必要があるため結論を出したのであり、今後は企画部門や民間等とも連携して、空き家物件の有効活用を通じて地域の課題解決に役立てていくことを検討していただきたい。</p>

(担当) 都市計画課

令和4年度外部評価結果

番 号	4
事 業 等 名	調理場給食事業費
事 業 概 要	<p>「安全で安心」な学校給食を提供するため、調理業務・配送業務の委託や賄い材料の購入、調理機器の更新を行い、児童生徒の心身の成長の一助とするもの。</p> <p>《第一調理場》 令和4年度調理食数 約2,800食/日</p> <p>《第二調理場》 令和4年度調理食数 約1,700食/日</p>
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・調理して児童生徒に食べてもらうという点においては、他の団体と連携したり話し合ったりする場面は多くないかもしれないが、市の中で言えば学校や学校教育課はもちろんのこと、学校給食が体育の一環として始まったという歴史を鑑みればスポーツ振興課とも連携できると思うし、外部でも生産者団体をはじめとして、より広く協働できる部分があると思う。 ・「地産地消」の観点から、八街の野菜を好きになってもらえるような教育に力を入れてほしい。それが教育の一環にもなるし、協働にもつながると思う。 ・システマ的には完成しているが、結果的に請負業者や納入業者が同じになってしまうということで、特に食材のように多くの業者が参入できる可能性があるものについては、制度の工夫によりもう少し透明性を持ったものにできないだろうか。
事 業 の 方 向 性	<div> <input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業完了 </div>
事業の方向性に関するコメント	<p>学校給食については、児童生徒に安全で安心な食事を提供することはもちろんのこと、食べることについて付加価値をつけられるような、厚みを持たせた教育的な取り組みも求められる。</p> <p>一方、児童生徒数の減少から職員の確保も難しくなっていくことが予想されており、ソフト面の強化、とりわけ「八街市ならではの食育」を確立するには、学校や関係各課、生産者団体、市民活動団体等との多様な連携が不可欠であると言える。給食費の徴収や施設の維持管理など求められるものは多いが、独自の食育を通じて「郷土愛を持った人材」を育てていけるよう力を尽くしていただきたい。</p> <p>また、業者の選定に関しては運用方法や仕様の工夫等によって、より様々な業者の参入、とくに地元業者を育てていくという発想を持ったものに改善を図ることが望まれる。新たな業者の参入は、新しい視点による業務効率化や価格競争の呼び水となる可能性を秘めているため、より開かれた運用を期待したい。</p>

(担当) 学校給食センター

令和4年度外部評価結果

番 号	5
事 業 等 名	調理場維持管理費
事 業 概 要	<p>「安全で安心」な学校給食の安定供給を継続するため、施設並びに調理機器等の計画的で適切な維持管理を図るもの。</p> <p>《第一調理場》 供用開始から32年が経過し、施設設備の老朽化が著しい 調理能力 1万食（副食）／日</p> <p>《第二調理場》 供用開始から24年が経過し、施設設備が老朽化してきている 調理能力 5千食（副食）／日</p>
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数や職員数が減少していくことが見込まれる中で、二つの調理場を修繕しながら維持していかなければならないというのは大変なことである。将来的には、調理場を一つに統合するという考え方もあるようだが、それはそれで大きな改修が必要になってくると予想されるため、タイミングが難しい。 ・調理機器についても非常に古いものを使っている。いくつか更新はされているものの、小さいところを言えば、焦げつきなど細かな劣化の問題もある。予算的な問題から簡単に買い替えることができないというのが苦しい。 ・一番心配なのは、子どもたちの健康に関する問題である。何か問題が起きてしまったからでは間に合わない。問題が起こる前にどのように先手を打っていけるのかということで、計画的な更新が重要だと思う。
事 業 の 方 向 性	<div> <input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 （ <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 ） </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業完了 </div>
事業の方向性に関するコメント	<p>児童生徒数の減少が見込まれる中、将来的には二つの調理場の統合や給食提供方式の転換等を迫られることが予想される。</p> <p>これに加えて施設の老朽化が進んでいることから、今後も安定的な学校給食事業を継続するためには、長期的なビジョンを持ち計画的に進めていくことが必須である。そのためには施設に関する専門的な情報を収集する必要があり、調査等の実施についても改めて検討していく必要がある。</p> <p>現状では当面の間、建て替えは行われたい考えであることから、まずは施設に起因する事故がないように引き続き計画的な更新や必要な修繕をお願いしたい。</p>

（担当）学校給食センター

令和4年度外部評価結果

番 号	6
事 業 等 名	子育て世代包括支援センター運営事業費
事 業 概 要	妊産婦及び乳幼児並びにその保護者の健康の保持・増進に関する包括的な支援を行うことにより、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を構築することを目的とするもの。
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業（宿泊型）の利用料金については、もっと利用者の視点も考慮する必要があった。市の財政的なことには考慮しつつも、利用する母親の金銭的な事情にも配慮し、もう少しきめ細かく検討いただきたいかった。 ・子育てにおける支援体制が切れないようにお願いしたい。何かあったときに「どこが、どうする」といったシステムが構築されているのか心配である。 ・相談したい保護者が迷うことなく尋ねていけるような周知をお願いしたい。市民には意外と知られていない。 ・保護者からすれば3歳以降も子育ては続くが、それについての考えはあまり伺えず、「私達はここまで」という印象を強く受けた。 ・「やちぴーツインズ」など、一部では民間との協力体制は見られるものの、全体的に市と当事者だけの関係に見えてくる。民間や子育てが一段落した親御さんを取り込んで上手に活かしていくというような部分が足りない。すべてを行政でやらなくても民間とのネットワークができれば、より支援体制に切れ目がなくなってくる。「密度を高める」という視点が必要。 ・子育て支援は、当事者と支援機関の間に存在している部分が非常に大事だと言われている。不安を抱えている親御さんの多くは情報がなかなか共有されない、あるいは入っていけないという状況にあり、他団体では市民同士が情報共有できるように、行政がきっかけづくりをする動きも増えてきている。
事 業 の 方 向 性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 （ <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 ） <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>子育ては3歳や5歳で終わるものではなく、「切れ目のない支援体制」という事業の目的を考えると、対象や連携のあり方において視野が狭く、限定的であって、まだまだ取り残されている部分が多く存在するものと思われる。</p> <p>子育て世代を支援センターが核となって様々な関係者に繋いでいくという現状を更に「八街市民としての子育て」という発想でシステムを拡充して考えることが重要で、関係部門との連携体制を強化し、さらなる「切れ目なく重なった支援」を目指していくことはもちろんのこと、地域・民間・市民の力を最大限活かすことこそが市民の享受できる情報を増やすことに寄与し、また担当の負担を減らすことにもつながる。</p> <p>より柔軟な発想を持ち、「八街市はみんなで手を繋いで子育て支援をしていく」という視点で事業を進められたい。</p>

（担当）健康増進課

令和４年度外部評価結果

番 号	7
事 業 等 名	通学路安全対策事業費
事 業 概 要	<p>小学校児童の通学時の安全確保を図るため、スクールバスを運行するとともに、学校安全アドバイザーの配置や交通安全教育等の安全対策事業を実施するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全アドバイザー謝礼 ・交通安全対策用消耗品費 ・朝陽小学校通学用臨時バス運行に係る交通誘導警備業務 ・朝陽小学校通学用臨時バス借上料 ・二州小学校スクールバス借上料
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉点検で明らかになった危険箇所１５０箇所のうち、８２箇所の対策が進められ、６６箇所の対策工事が完了していることは素晴らしいと思う。 ・通学路安全対策については、ハード面での道路整備等で建設部、信号機設置等で警察、ソフト面では学校教育課、各学校、地域の協力が不可欠である。 ・ハード面は学校教育課を中心に市が行い、かたやソフト面は学校単位で行っている状況であり、両面からの意見をぶつけ合う場の必要性を感じる。お互いの意見が合わさることで、効率よく問題を解決していけるものと考えている。 ・ハード面の安全対策には予算的な限界もある。予算がない状況下においては、要所要所の見守りなどソフト面で補っていく必要もある。 ・見守り隊については、格上げして「地域の子どもの安全は地域で守っていく」ということを高いレベルで行うような組織にしていくべきではないか。 ・各方面の連携については、もっと柔軟、かつ、継続的に動けるようなシステムの構築と実効の上がる運営を進めるということが大事だと考える。
事 業 の 方 向 性	<div> <input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業完了 </div>
事業の方向性に関するコメント	<p>交通安全対策は児童に限った話ではなく、関連部署が積極的に連携をして取り組むべき課題である。</p> <p>ハード面では危険箇所の対策工事が着実に進められつつある中、今後は諸般の事情により対策工事が遅れている、あるいは工事ができていない箇所の対応、対策後の継続的なモニタリング、ソフト面との連携手法の確立が期待される。</p> <p>一方、ソフト面では情報収集・発信体制の強化をはじめ、更新を含めた危険マップの可視化と全市民への情報共有、見守り体制の拡充等により、事故を起こさせない運用面での仕組みづくりが強く求められる。</p>

(担当) 学校教育課、道路河川課

令和４年度外部評価結果

番 号	8
事 業 等 名	公共施設等マネジメント推進事業費「八街駅北口の市有地利活用事業」
事 業 概 要 等	<p>本市が保有又は使用する公共施設等の資産について、経営戦略的な視点から総合的に企画、管理、活用することにより、施設に係る経費の縮減や施設価値の向上等を図ることを目的とした事業であり、「八街駅北口の市有地利活用事業」では、市民や民間事業者の意見を聴きながら、当該市有地及び八街駅周辺地域の活性化を考えるものである。</p>
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・利活用には、さらに市民の声を取り入れていくということも重要である。 ・北口の問題は十数年前から腹案等もあったが進んでおらず、このままでは活用方法が決まらないのではないかと懸念する。 ・市民と情報を共有することで議論の透明性を確保しながら、検討委員会の方で効率的に進めることが一番大切だと考える。 ・検討委員会や幹事会が検討をするために進め方や検討範囲について整理する必要がある。 ・活用方法をどうするかということよりも、検討委員会と幹事会について体制的な問題がある印象を受ける。 ・議論が進んでいないため、一度事業を廃止した上で、再度仕切り直すことも考えられる。
事 業 の 方 向 性	<div> <input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 </div> <div> <input type="checkbox"/> 事業完了 </div>
事業の方向性に関するコメント	<p>利活用の検討組織である検討委員会及び幹事会については、実質的な機能不全状態に陥っており、その体制的な問題から議論が進んでいない様子が見受けられる。このため、体制の整理、見直しの必要性があると考えられる。</p> <p>また、今後の検討にあたっては「現状どう活用するのか」、「将来に向かってどのように活用していくのか」というような多段階の議論が必要であり、特に前者についてはスピード感を持って早々に活用方法を見出すことが求められる。市民の要望にも耳を傾けながら、議論に透明性を持って、効率良く進めていくことは大変難しいことと承知しているが、まずは検討組織や進め方の統制について十分に精査されたい。</p>

(担当) 財政課

令和４年度外部評価結果

番 号	9
事業等名	市税徴収事務費
事業概要	<p>市税及び国民健康保険税の現年度分徴収率が県内では最下位のレベルにあるため、徴収率の向上と滞納繰越額の縮減が喫緊の最重要課題として位置付けられる。本事業は、口座振替納付の促進、納付チャネルの多様化、差押え等滞納処分強化を通じて、自主財源の確保及び税負担の公平性を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市税等の徴収に係る再発行納付書等の印刷費 ・口座振替やコンビニ収納、ペイジー収納、クレジット収納等に係る手数料 ・市税徴収指導員の報酬 ・市税過誤納還付金及び返還金など収納管理に係る経費 ・実態調査や財産調査、搜索、インターネット公売等の滞納処分に係る経費 ・家庭裁判所に申立を行い、相続財産清算人選任による滞納税の解消に係る経費
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・徴収率が厳しいということだが、なかなか抜本的な解決策があるものではないということも事実。 ・地道に啓発活動をして、「税金は納めないといけない」と思ってもらえないのではないか。 ・滞納整理を行う組織に関しては、市単独での設置に限らず、少し広域的な連携体制を構築するといった事例も聞けるが、検討はできないだろうか。
事業の方向性	<div> <input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) </div> <hr/> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止
事業の方向性に関するコメント	<input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>市税の徴収率は厳しい状況にあるが、抜本的な解決策があるわけではないので、今ある人員、労働力を最大限に活かして可能な範囲で財産調査を徹底させていくこと、千葉県との連携体制による搜索や地道な納税啓発などの対策を続け、徴収率の向上に努めていただきたい。</p>

(担当) 納税課